

日本児童文学学会第61回研究大会プログラム

* 評議員会・理事会は、事前にオンラインで開催されます。 * 懇親会は、残念ですが開催できません。

11月19日(土) 受付は、12時15分から、2号館にて行います。

研究発表Ⅰ 13:00~15:00

【分科会 ①】 司会：石井光恵（日本女子大学名誉教授） 会場：230 教室（2号館3階）

1. 絵本に見る「行きて帰りし物語」の諸相 — その結晶構造の展開と脱構築
村田康常（名古屋柳城女子大学）
2. 読みつかれる幼児向け科学絵本の技法 — 平山和子の植物絵本を事例として
中村美和子（お茶の水女子大学）
3. 中国の早期教育における日本の翻訳絵本の受容 — 「〇・一・二歳からの絵本」を中心に
劉娟（横浜国立大学非常勤講師）
4. 坪井正五郎の玩具及び絵本との関わり
永田桂子（京都女子大学大学院元非常勤講師）

【分科会 ②】 司会：奥山恵（白百合女子大学ほか非常勤講師） 会場：231 教室（2号館3階）

1. 仁木悦子=大井三重子の「子ども」造型 — 初期作品にみる「語り」と「認識」 —
佐藤宗子（千葉大学名誉教授）
2. はやみねかおる作品の間テクスト性 — 共通テクストによる解釈のひろがり —
日暮英里佳（白百合女子大学大学院博士後期課程）
3. 村上雅郁『りぼんちゃん』における未熟さとアセクシュアリティ
小林夏美（聖学院大学非常勤講師）

学会賞および学会創立60周年記念論文授賞式、総会 15:15~16:45

会場：220 教室（2号館2階） 予定

11月20日(日) 受付は、9時30分から、2号館にて行います。

研究発表Ⅱ 10:00~11:30

【分科会 ①】 司会：酒井晶代（愛知淑徳大学） 会場：230 教室（2号館3階）

1. 博文館「少年文学」叢書のひろがり — 明治・大正期にわたる受容の過程に注目して —
柿本真代（京都華頂大学）
2. 「家庭コドモ新聞」概要と考察
横田由紀子（北海道支部ヘカッチ）
3. 大正期の少女雑誌におけるフランス小説の受容
— グザヴィエ・ド・メーストル原作『シベリアの少女』の翻訳をめぐって
渡辺貴規子（大阪大学）

【分科会 ②】 司会：米村みゆき（専修大学） 会場：231 教室（2号館3階）

1. すべての子どもに「自分の本」を！

— 八戸市マイブック推進事業の展開

戸田山みどり（八戸工業高等専門学校）

2. 「千と千尋の神隠し」と「注文の多い料理店」

— 食べることと吐くこと、それらをつなぐ「団子」—

伊藤かの子（白百合女子大学大学院博士後期課程）

3. 『童話研究』における「童話」の卓越化

目黒強（神戸大学）

シンポジウム 12:30~14:30

会場：220 教室（2号館2階） 予定

現代児童文学をいかに歴史化するか

— 資料の保存・活用の方策を考える —

司会・コーディネーター：大木葉子（東北工業大学准教授、児童文学研究）

パネリスト：

西山利佳（青山学院大学准教授、児童文学研究、古田足日研究プロジェクト）

藤田のぼる（日本児童文学者協会理事、評論家・作家、現代児童文学史研究）

増井真琴（日本学術振興会特別研究員 PD、近代文学研究・児童文学研究、小川未明研究・巖谷小波研究）

宮田航平（東京都立産業技術高等専門学校准教授、児童文学研究、あまんきみこ研究会）

ラウンドテーブル 14:45~16:25

【ラウンドテーブル ①】 会場：230 教室（2号館3階）

テーマ：**巖谷小波と絵葉書**

司 会：土居安子（大阪国際児童文学振興財団）

概要報告：中川理恵子（豊岡短期大学講師）

講 演：巖谷國士（明治学院大学名誉教授）

【ラウンドテーブル ②】 会場：231 教室（2号館3階）

テーマ：**東アジアの小学校国語教科書における児童文学を考える**

— 伝統的言語文化に関する教材を中心に

司 会：佐藤宗子（千葉大学名誉教授）

情報提供：成實朋子（大阪教育大学）総括・台湾

大竹聖美（東京純心大学）韓国

浅野法子（大阪成蹊短期大学）中国

西山利佳（青山学院大学）日本